

香芝市地域福祉計画・香芝市地域福祉活動計画策定委員会 要旨録

会議名	第2回香芝市地域福祉計画・香芝市地域福祉活動計画策定委員会
開催日時	令和7年10月23日（木） 13時30分～15時15分
開催場所	香芝市総合福祉センター 3階 会議室2
出席者	出席委員 11名 欠席委員 3名 事務局 8名
議事	1. 第四期香芝市地域福祉計画及び第四期香芝市地域福祉活動計画の計画体系について 2. その他
公開・非公開の別	公開とする 傍聴者 なし
≪議 事≫ 1.	≪要旨≫ 第四期香芝市地域福祉計画及び第四期香芝市地域福祉活動計画の計画体系について （事務局から説明）  知的・発達障害のある子どもについて、兄弟でつながりがあったり、また孤独を感じているという話も聞く。兄弟で感じていることを、分かり合える場があったらいいと思う。子どもに対して、母の役割がどうしても大きくなるので、父の役割についても考えていかなければならないと思う。教育現場、保育現場、地域によって地域格差を感じてしまう。それぞれの地域で障害理解を深める、意識を高く持っていくということが大切である。  国では更生支援ということで再犯防止推進計画が言われている。どうしても就労ができないため再犯するという状況があり、再犯率は約50%である。  この計画は、行政計画という側面と民間活動のアクションプランという要素もある。公から見て役に立つかということより、それぞれの方の豊かな思いの中ではぐくまれ、結果としてこういうことが生まれてくるという側面が大いにあると思う。役に立つかどうかだけでなく、市民の方の色々な声を応援していくような広がりを持ったものを策定いただくことを希望しておく。
意 見	
意 見	

意 見	政策分野２の施策（２）で、重層的支援体制整備事業に関連することをまとめて整理していることについて、分かりやすく良いと思う。重層事業そのものが地域づくりであったり参加支援の要素も含んでいるので、ここにまとめて書くとともに、いろんな所に散らばっていくのかなという印象を持った。
意 見	政策分野４の施策（１）で、市民の生きがいや役割の創出というところで、整理の考え方がとてもいいと思った。いろんな方が地域の中で出番や役割を持って行けるような取組が広がっていけばいいなと思った。
意 見	母たちの会話で、子どもを療育に通わせている方が、習い事感覚で親たちに勧めているのを聞く。母も一緒にかかわり方を学んでいるのならいいが、本当に必要な方にサービスが届いているのかと思う。
意 見	ボランティアの登録団体はいっぱいあるが、連合体としてのメンバーはだんだん減少し、個人個人が勝手に動いてしまうという傾向が見られる。
意 見	ボランティアの高齢化や、みんなのために動くという意識を持った人が減ってきているというのは耳にする。一方で、若い方たちもたくさん活動を始められている。若者流の動き方をし、つながり方も対面でなく SNS 上とか、昔とは違った動きとなっている。つながり方とか参画してもらう工夫が必要なのかなと思う。
意 見	政策分野１の施策（１）に、地域福祉を担う人材の育成となっているが、最近の動きをみると育成ばかりではない。最近では、そういうことを飛び越して、私はこのテーマでやる、ということではいろんな方々が思い思いに活動をしている。こういう人を見つけて応援していく流れも必要かもしれない。
意 見	グループとか自治会とか組織のトップで働いてくれる人がいない。トップがいないので崩壊していく。例えば、子ども会では６年生になると親は役員が回ってくるので、その前に子どもをやめさせてしまう。
意 見	７～８年前、私の自治会では、小学生が８１人いたが、子ども会に入っているのは８人だった。そこで、会費もなし役員もなしで、我々自治会の役員で新しい子ども会を作った。毎月行事をしていくと３０

2.	<p>～40人集まり、クリスマスやバーベキューなどでは50～60人集まった。また、子どもの居場所づくりとして、子ども会以外にも子ども食堂を何年か前からやっている。ここでは子どもだけでなく、お年寄りなども来ていただいている。</p> <p>その他</p> <p>次回以降の会議日程及び内容について、事務局から説明。</p>
----	--